

## 第十七章 高座郡

### 一、郡下の損害及其應急措置

激震の近海陸地に及ぼせし影響甚だしく、相模川河口に沿へる茅ヶ崎町大字柳島の如きは、耕地二十有餘町歩も低下し、其上相模川口に注ぐ小出川河口は反對に波打際より隆起せるため、全河川は排水不能となりて、耕地に浸水し終に道路は勿論、住宅地に至る迄氾濫し、爲に小學兒童の通學にも暫時支障を來たせる状態なりき。

其他、本郡土木建築方面の災害は極めて甚だしく、陥没缺壞若くは龜裂等、舉げて數ふべからざる有様にして、その損害は實に左の如き多額に上れり。

#### 土木建築方面損害調

道路	五一、三七一間	復舊費	四三〇、〇二二圓
堤防	一四、四八六間		
橋梁	石造 二〇〇坪 木造 八〇三坪		
河川	六、六〇〇間	〃	三六〇、〇五〇圓
用要水路	六、一五〇間	〃	八九、六〇〇圓

従つて家屋の倒潰無數に、罹災世帯數も夥しく、中には高貴の御身の上にして不慮の災厄に遭遇せられたる方もありき。

當時鵜沼海岸吉村別荘に御避暑御滞在中の東久邇宮妃殿下並に盛厚王師正王兩殿下御一行は、時恰も二階にあらせられし妃殿下を除きまつり、二王子殿下並に隨員三名は、御旅館の倒潰と共に不幸其下敷とならせられたり。早くも

其異變を知りし人々は、自家の倒潰をも顧みず、危険を冒して急遽全邸に馳せつけ、或者は妃殿下を安全の地に移し  
まらせ、或者は直に倒潰家屋を破壊して、先づ、盛厚王殿下（左眼上部に御負傷）を御救助申し上げ、續いて師正  
王殿下を出しまらせしが、此時既に御不幸にも殿下には薨去遊ばされたる後なりき。續いて隨員も堀出されたれど  
も、これ亦不幸にも絶命の後なりき。かゝるうちにも朝來の西風は一層勢を加へて、地震に次いで大海嘯の襲來とな  
りしかば、妃殿下を始め御負傷の盛厚王殿下並に師正王殿下の御遺骸を三隨員の遺骸と共に、一先づ鵜沼字堀川の民  
家に御庇護申し上げ、後更に海岸地に御避難所を急設して之に移しまらせたりき。御遺骸の假御埋葬についても、  
赤誠の迸るところ、町民舉つて御盡力申し上げたり。

激震と同時に、藤澤町藤澤中學校其他郡内に合計十五箇所の發火を見しも、當時西南の微風十米突程に過ぎざりし  
かば、全焼多きも十六、少なきは一棟全焼にて消し止むることを得たりき。

横濱、東京兩市の大火災の傳へられしは其日のうちの事にして、人々たゞ驚怖に襲はれたる際なれば、何處と  
もなく不逞鮮人襲來の報傳はり、二日京濱方面より其掠奪放火團二百名襲來の流言行はるゝに至りしかば、既設保安  
組合（自警團）員は、各村共活動を開始し、防備の用意おさおさ怠りなかりき。

警察官亦之に應援して、火災豫防火氣の取締を爲すと共に、各部落を警戒、昂奮して數日間徹宵警備に努めたり  
しが、七日に至りて工兵七名初めて溝村上溝横濱水道事務所に到着水道の警備に任せしため、人心漸く鎮靜に歸せり  
續いで又騎兵第十五聯隊歩兵第四十九聯隊の小分隊は部内の要所地に派遣せられ、駐屯警備に任じ、十月十二日大和  
村下鶴間に憲兵分遣所を設けられ、憲兵曹長以下補助憲兵を合せて十五名を駐在、警備をなすに至りしかば、二十五  
日迄の間に歩騎の兵員は全部徹退せられしも、軍隊並に憲兵の駐屯後、部内何れも安定を見るに及びし爲、自警團員  
は、少數の員數を以て火番をなし、夜間の警戒をなしたるに過ぎず、警察官全部は震災當日より七日間、徹宵晝夜兼

行にて火防、警防、救護、其他の事務に従事し、其後九月中、非番員は夜間十二時迄服務、其他十月中に至りては、非番員の如きも晝間非番勤務に従事し、火防其他の調査事務に従事、火災防止に努めたりき。  
 今、本郡に於ける罹災調を表示すれば左の如し。

罹災住屋並非住屋の損害

全	燒	八七二坪
全	潰	四八六、六一〇坪
全	流失	二五〇坪
大	破損	五三二、一九八坪
損害	價格	三三、三一七、三九三圓
住屋	木造	四三六、〇一二坪
全	石造	二五坪
非住屋	木造	五八二、一二七坪
全	煉瓦	一二六坪
全	石造	一四七坪
全	土藏	一、四九四坪

本郡中、被害の程度激甚なる藤澤町罹災民の爲、臨時震災救護事務局神奈川縣支部收容設備部に於て、收容バラック百軒此の建坪三百坪之を大字藤澤に三十軒全鵜沼に二十軒全辻堂に二十軒を建設し、收容方法を講ぜり。尙小屋掛材料として、本郡農會にて亜鉛板二萬枚購入の爲、大阪市に出張せしめ、罹災者に有償配給を爲す。

食糧品に就ては、本郡藤澤、茅ヶ崎兩町を除く外、何れも純粹の農村にして、食糧問題の解決は、自給自足により比較的容易の状態なりしも、内地玄米二千四百俵、外米八百九十七袋を食糧局及事務局より配給を受け、要求町村に有償又は無償配給を行ひ、無償外米を以て罹災者中購入資力なきもの、又は他の援助に頼るを得ざる者八千五百九十八人に對し、無償配給を行ひたり。尙、各町村の希望により、別に有償無償配給を爲したるもの、別紙無償米配給表の通り配給せり。

副食物物として食鹽七十噸、砂糖、七十袋を配給す。

電燈の効用は全部杜絶したるを以て、事務局縣支部より、蠟燭二百箱の配給を受け、之を各町村に配給したるもの慰問は京都市より寄贈せられたる慰問品、及郡内被害僅少なりし田名村、大澤村、溝村、座間村の各村處女會より寄贈の慰問袋を始とし、事務局縣支部より配給せられたるものにして、之を各町村に配給せり。併して、是等の配給に付ては、郡内罹災者及避難者を標準として、可及的均等を保ち得るよう、特殊の物品に在りては、梱包を解き、種類別に配給したり。又、町村に於ては、悉く解包し、各部落に別ち、公平に配給せしめたり。

高座郡震災一覽表

町 村 名	直ニ救恤ヲ要スル戸數人員	全潰シタ家以外ノ數	全上住家以外ノ棟數	死亡者	負傷者	郡外ヨリ入リタル避難民
藤 澤 町	人員 二五〇 六七	一、五〇五	一、三九四	一、一三六	二一四	二、七〇九
茅 ヶ 崎 町	人員 三、〇〇〇 〇〇	二、二二三	二、六八	一、二〇七	一、三七二	二、三〇〇

第十七章 高座郡

相原村	大澤村	溝村	田名村	麻溝村	新磯村	座間村	海老名村	有馬村	御所見村	小出村	寒川村
〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃
11	11	11	11	52	95	420	495	601	465	94	135
10	1	8	3	13	20	55	461	393	275	275	575
40	16	27	20	14	16	55	733	714	623	755	786
70	16	5	34	10	73	90	290	114	265	219	238
146	133	8	171	4	18	80	383	232	304	359	271
							滞在者				
1	1	1	1	1	1	3	3	3	5	7	3
1	1	1	1	1	1	10	16	68	5	40	27
100	110	197	169	153	101	500	38	336	400	1,511	110

無償米配給表

町村名	項目	無償トナレルタメ新ニ配給セルモノ		有償トシテ受領セルモノ		配給替ニ依ル差引高	
		總高	全上代金	配給高	全上代金	徴收高	配給高
藤澤町	支米 依 袋	三七〇	四、八四〇	一〇七	二四、〇	七、五四六	
茅ヶ崎町	外米	一五四	一、六九四	六〇〇	七、九二〇	一、九三六	
寒川村	外支	四三五	一、一七八	二〇〇	二、二〇〇		一、五九五
小出村	外支	三六	八七、六〇〇	一〇七	一、一七、〇〇		九四、六〇
合 計		九、七六六	二、〇三八	九、五四	四、六六七	四三三	一一、一八五
大野村				四三	五二		二四二
大和村				二二	一三二		九五
綾瀬村				四六三	二七三	一六	一五〇
澁谷村				一三六	一五九	二	六五〇
六會村				二五六	二四四	一五	五〇〇
合 計		六、六六三	九、五三四	四、六六七	五、六八八	四三七	一一、一八五
				滯在者			

第十七章 高座郡

村名	外支	外支	外支	外支	外支	外支	外支	外支	外支	外支	外支
綾瀬村	四八五	一八七、四〇〇	九六九	九七九	二二八	二二七	二二七	二〇八	三三三	四六六	五七四
大野村	四二二、四〇〇	一八七、四〇〇	二二二、二〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	四七三、二〇〇	三九六、八〇〇
相原村	九二一、二〇〇	三〇〇、二〇〇	九二一、二〇〇	九二四、四〇〇	三三三、六〇〇	三三三、四〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
大澤村	九二一、二〇〇	三〇〇、二〇〇	九二一、二〇〇	九二四、四〇〇	三三三、六〇〇	三三三、四〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
溝村	二二八	三六九、六〇〇	二二八	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
田名村	二二七	五二〇、四〇〇	二二七	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
麻溝村	二二七	三四五、四〇〇	二二七	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
新磯村	二〇八	三四七、六〇〇	二〇八	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
座間村	三三三	八〇九、六〇〇	三三三	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
海老名村	四六六	一、六〇八、二〇〇	四六六	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
有馬村	五七四	一、二八二、六〇〇	五七四	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇
御所見村	五七四	一、三三七、八〇〇	五七四	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	一三三、〇〇〇	二二四、四〇〇	二二七、六〇〇	二二二、〇〇〇	一、二八二、六〇〇	三九六、八〇〇

計	澁谷村	六會村	郡
外支 一、七〇〇 七六九	外支 三〇	外支 一〇四 四三	外支 三六七
二二、四四〇、〇〇〇 八、四九九、〇〇〇	一、四八八、四〇〇 三九六、〇〇〇	一、三七二、八〇〇 四七三、〇〇〇	一、一四八、四〇〇 三九六、〇〇〇
三〇、八九九、〇〇〇	一、八四五、八〇〇	三九六、〇〇〇	一、五四四、四〇〇
一、七〇〇 八七	三〇	一〇〇	二〇〇
二二、四四〇、〇〇〇 九、〇九七、〇〇〇	三九六、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇
三二、五三七、〇〇〇	三九六、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇
一〇、四九一、八〇〇	三九六、〇〇〇	三五四、一〇〇	六五五、六〇〇
一〇、二四九、八〇〇	三九六、〇〇〇		

外米五十八袋有償米代金返還六三八圓

救護者及必需品等調表

町村名	項目	直チニ救恤 ヲ要スルモ ノ戸數及人		差當リ必需品種類及數量	他ニ供給シ得ル 主要食品及 副食物概數	小學校ノ使用 シ得ル教室數	全潰シ タル住 家數	全潰シ タル住 家以外 ノ家數	半潰シ タル住 家ノ數	全上住 家以外 棟數
		戸數	人員							
藤澤町	人員	二五〇	六六七	玄米六百俵、ローソク三〇箱			一、五〇五	一、三九四	一、二七七	一、一三八
茅ヶ崎町	人員	三〇〇	三〇〇	米二百石、ローソク三二箱、マツチ一〇箱	個人ノ手ニアルモ ノ甘藷、〇〇〇俵	五	二、二二三	二、六二八	一、一〇七	一、一三七
寒川村	人員	一、三三三	二六五	白米一〇〇俵、石油五罐、ローソク八箱、亞鉛板二〇〇	ナシ		五七五	七八六	二三八	二七二
小出村	人員	一、五三四	九三四	米二〇〇石、味噌六〇〇貫、石油十八石、マツチ二箱、醬油二四石、ローソク六箱	ナシ		二七五	七五五	二二九	三三九
御所見村	人員	九三	四三	石油二〇箱、ローソク六箱、マツチ三箱、釘木材若干	各自ノ所有スルモ ノ甘藷、〇〇〇貫	七	二七五	六二三	二六五	三〇四



第十七章 高座郡

有馬村	海老名村	座間村	新磯村	麻溝村	田名村	溝村	大澤村	相原村	大野村
〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
二四 六〇 〇 〇 箱	二〇 四九 五 箱、 石、 鹽三〇 俵、 外米 百袋	七〇 四〇 〇 箱	二〇 九 箱	二 五 箱、 石 油二 五箱	ナシ	四箱	四箱	白米 四十五 石、 ローソク 三箱	四箱
ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	商人ノ手ニアルモ ノ醬油二百樽(九 升入)	各自所有スルモノ 甘藷若干	商人ノ手ニアルモ ノナシ各自ノ所有 スルモノ玄米五十 石、味噌千貫、醬 油八十石
ナシ	假教室一室ヲ除ク 外修理ノ上使ハス ルコトヲ得							全部使用シ得	
三九三	一一二	五五	三	一一	一七	一八	一四	一〇	一四
七二四	四六一	五五	二〇	一一	三	八	ナシ	四〇	四三
一一四	七三三	五五	一六	一四	二〇	二七	一六	七〇	一三五
二二	二九〇	九〇	七三	一〇	三四	五	一六	七〇	五三
三三二	三八三	八〇	一八	四	一七二	五八	一三三	一四六	四九

町村名	項目	人	員	町村名	項目	人	員
大和村	一ロソク四箱、石油三〇箱	ナシ	四六四	田名村			七二
綾瀬村	五外白米百袋	ナシ	五七二	溝村			一四
	二六〇袋	商人ノ手ニアルモ	一五三	大澤村			
	二六〇袋	小麥一〇〇俵、各	六五	相原村			
		ノ大麥一〇〇俵、	四八	大野村			七八
		所有スルモノ大麥					
		四〇〇俵、小麥四					
		〇〇俵、甘藷一、〇					
		〇〇俵、甘藷五、〇					
		各自ノ新有スルモ					
		〇ノ甘藷五、〇、〇					
		〇俵					
六會村	一三〇外米百袋、石油一〇〇罐、マ		四六四				
	六〇〇ツチ一〇箱、ロソク八箱		五七二				
澁谷村	一五外白米百俵、石油三〇箱、		一五三				
	八〇〇ロソク八箱		六五				
計			四八				
			六六二				
			九、五四				
			四、六七				
			五、六八				

副食物配給を要せし人員

町村名	項目	人	員	町村名	項目	人	員
藤澤町	一、〇五七	有馬村	四六四	田名村			七二
茅ヶ崎町	二、七五四	海老名村	五七二	溝村			一四
寒川村	五、四六	座間村	一五三	大澤村			
小出村	四、六四	新磯村	六五	相原村			
御所見村	五、〇〇	麻溝村	四八	大野村			七八

町村名	項目	死亡者數	負傷者數	他方面ヨリ其ノ町村ニ入リタル避難者ノ數
藤澤町		外ニ一時滞在者 一二七	一一四	二、七〇九
茅ヶ崎町		外ニ一時滞在者 一四二	九六	二、三〇〇
寒川村		三一	二七	一一〇
小出村		七	四〇	一、五二二
御所見村		五	五	四〇〇
有馬村		二二	六八	三三六
海老名村	住民滞 在者	三三	一六	三八二
座間村		三	一〇	五〇〇
新磯村				一〇四
麻溝村				一五三
田名村				一六九
溝村				一九七

死亡者避難者調表

大和村	一九三	四五五	計	八、五九八
緩瀬村	五四七	六一六		

町村名	項目	品名	数量	単價	金額	備考
大澤村	内地白米	米	一石	四〇〇〇〇	四二、二〇〇	前申請書ニヨリ登載セルモ
相原村	食米	米	ナシ	ナシ	一	ナシ
大野村	食米	米	ナシ	ナシ	二	二〇〇
大和村	食米	米	ナシ	ナシ	九	二四二
綾瀬村	食米	米	一六	一六	一五	九五
澁谷村	食米	米	二一	二一	〇	一五〇
六ヶ谷村	食米	米	一五	一五	一四	六五〇
計		住民 滞 在 者	四二 三 一 六		四二 七	一一、一八五

罹災救助基金による高座郡各町村救助費 (其一)

町村名	項目	品名	数量	単價	金額	備考
藤澤町	内地白米	米	一〇、三八一石二付	四〇〇〇〇	四二、二〇〇	前申請書ニヨリ登載セルモ
茅ヶ崎町	食米	米	六四、九〇〇一石	三五、〇〇〇	二、二七一、五〇〇	ノ
寒川村	食米	米	三三、九四〇	三五、〇〇〇	一、二二二、八七〇	焚出シヲ含ム
小出村	食米	米	延八、四八〇一人付一日	六錢	五〇八、八〇〇	
御所見村	食米	米	五八、四七〇	三五、〇〇〇	二、〇四六、四五〇	
有馬村	食米	米	五三、七〇〇	四〇、〇〇〇	二、一四八、〇〇〇	
有馬村	食米	米	二二、一〇〇	三五、〇〇〇	七三四、八五〇	焚出ヲ含ム



第十七章 高座郡

茅ヶ崎町	三、七六四	六五、五六七	一、六六七	八二、一八、〇〇〇
寒川村	二九九	—	四八六	七八五、五〇〇
小出村	二七一	二、三八七	九〇	二、七四八、〇〇〇
御所見村	二七五	七七〇	—	一、〇四五、〇〇〇
有馬村	二五三	—	六四五	八九八、〇〇〇
海老名村	三四九	二、五九一	二〇	二、九六〇
座間村	八八	四五三	—	五四〇、〇〇〇
新磯村	三三	—	—	三三、〇〇〇
麻溝村	三三	四八	—	七〇、四〇〇
田名村	四四	—	—	四四、〇〇〇
溝村	九八	二二〇	七〇〇	一、〇〇八、〇〇〇
大澤村	六一	—	—	六一、〇〇〇
相原村	—	—	四一六	四一六、〇〇〇
大野村	四四	—	四四〇	四八四、〇〇〇
大和村	一一〇	—	三、八三五	三、九三五、〇〇〇
綾瀬村	八八〇	一、〇二三	一一〇	二、〇一一、〇〇〇
澁谷村	二五三	三八五	三九六	一、〇三四、〇〇〇
六會村	一七三	二、六六〇	三八五	三、二二七、〇〇〇

## 二、各方面に及ぼしたる被害状況

(1) 商工業方面 本郡は、藤澤、茅ヶ崎の兩町を除くの外、殆んど大部は農村にして、商工業として記録すべき程のものにはあらざれど、南部の震災激甚の爲、商業地といふ商業地は何れも甚大の災害を蒙り、交通杜絶の間、商業取引は中絶せられき。就中、酒、醤油醸造業及製絲工場の蒙りし災害甚だしく、金融關係或は設備等の爲に狼狽するもの多く、又商店は小資本家即ち小賣商多きに依り、之れ亦復舊困難にして、十二月下旬までに漸く假建等のまゝ、開店するに至りし状態なりき。

## 等 一 表

## 商工業被害調査

## 酒醤油醸造業者全販賣業

町村名	項目			上欄ニ依リ製品及 商品ニ及ボシタル 損害	摘 要
	全 戸 數	全 潰 戸 數	半 潰 戸 數		
藤 澤 町	一三	一二	一	二〇、五九四	震災ノ爲メ全潰シ、棟全部破損ノタメ流失シタルニ依ル
茅ヶ崎 町	〃〃	五	〃	一八、二五〇	洩出或ハ壁土浸入ノタメ賣物ニナラズ
寒 川 村	〃〃	二	〃	二〇、〇〇〇	全潰シタルタメ造品ノ大部分不用トナル
御 所 見 村	〃〃	一四	〃	五〇〇	
有 馬 村	〃〃	三	〃	〃	

計	六會村	澁谷村	座間村	海老名村
〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃
八六	〇	三	一	二九
三二	五			三二
一七五	三	五	二	四一
四七、一一 三、一〇五	六五〇	三〇〇	六〇〇	三五、七三 一、六五六
	震災ノタメ商品轉倒或ハ汚シタルタメ販賣スルコトヲ得ズ			

第二表

吳服太物商米穀肥料商

町村名	項目	全戸數	全潰戸數	半潰戸數	上欄ニ依リ製品及商品ニ及ボシタル損害	摘 要
藤澤町	吳服商	六四	六三	一	九二、九〇〇	震災ニヨリ全潰、續キ、雨ノタメ汚染セルタメ
茅ヶ崎町	〃〃	八	三	五	四八、九七三	汚損ノタメ
寒川村	〃〃	一〇五	七四	三一	一、五〇〇	全潰シタルモノハ當時雨多カリシタノ漏水ノタメ汚損シタ
御所見村	〃〃	九二	二	三	八〇〇	
有馬村	〃〃	四				



第三表

洋物店、菓子製造販賣業

計	六會村	澁谷村	座間村	海老名村
〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃
三六	〃	四	〃	八三
二四	〃	二	〃	五二
九〇	〃	二	〃	三一
一〇、三〇〇 五四、三五〇	〃	五、〇〇〇	〃	三、二四〇 四、五八三

町村名	項目	全戸數	全潰數	半潰數	上欄ニヨリ製品及 商品ニ及ボシタル 損害	摘	要
藤澤町	洋物店 菓子店	三三	三三	〃	一、五〇〇 三、〇〇〇	震災ノタメ倒潰シ續イテ雨ノ タメメラサル	
茅ヶ崎町	〃〃	八	二	七	一、二〇〇	壁土混入ノタメ賣物ニナラズ	
寒川村	〃〃	〃	〃	〃	〃		
御所見村	〃〃	九	一	四	〃		
有馬村	〃〃	〃	〃	〃	〃		

第四表

飲食店に及ぼしたる状況

町村名	項目	全戸數	全潰戸數	半潰戸數	上欄ニヨリ商品製 品ニ及ボシタル損 害	摘 要
藤澤町						
茅ヶ崎町						
寒川村						
御所見村						
有馬村						
海老名村						
座間村						
計		二、五〇〇	一、三六六	一、一三四	一、〇〇〇	震災ノタメ商品ハ壁土其他ノ モノニ依リ汚損サル
海老名村		二六	八	二	五六	
座間村		二	三	一	一〇〇	
澁谷村		一五	三	八	一〇〇	
六會村		二	一	一	一〇〇	
計		二、五〇〇	一、三六六	一、一三四	一、〇〇〇	

計	二五	一〇	九	七五〇	三〇〇 震災ノタメ商品ハ轉倒或ハ汚 レテ販賣スルコト能ハズ
六 會 村	三	一	六	一	
澁 谷 村					

製糸工場震災調査

一、工場及機械器具の損害

工場名	全潰工場		半潰工場		機械器具ノ損害	計
	棟數及坪數	金額	棟數及坪數	金額		
徳増製糸	二棟 四九坪	五〇,〇〇〇 円	三坪 三坪	一、五〇〇 円	四〇,〇〇〇 円	一〇一,五〇〇 円
純水館	一、二七〇	六七,三三〇	一	八九,八六〇	八九,八六〇	一五七,〇九〇
宮澤製糸	一		一〇四坪	三、六五〇	二、七五〇	六,四〇〇
榎山製糸	一		四九坪	三、〇〇〇	二、〇〇〇	二,三〇〇
保田製糸	一		一	三、五〇	三、五〇	三、五〇
鈴木製糸	一		六四坪	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五,三〇〇
關口製糸	一		一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一,〇〇〇
持田第二工場	九三 三〇〇	一三〇,〇〇〇	三 九四坪	五、〇〇〇	五〇,〇〇〇	一八五,〇〇〇
山本製糸	一〇三 三七	一〇、六〇〇	一		四、六〇〇	二五,二〇〇

二、附屬建物の損害

工場名	全		半		計
	棟数及坪数	金額	棟数及坪数	金額	
徳増製糸	1棟 1坪	5,873円	1棟 1坪	860円	52,733円
純水縮	123棟 1,232坪	5,873円	123棟 1,232坪	860円	52,733円
宮澤製糸	1棟		1棟		7,666円
榎山製糸	1棟		1棟		6,500円
保田製糸	1棟	9,750円	1棟	500円	10,250円
鈴木製糸	1棟	15,000円	1棟	500円	15,500円
關口製糸	1棟	10,000円	1棟	500円	10,500円
持田第二工場	1棟		1棟		2,760円
山本製糸	1棟	2,760円	1棟		2,760円
計	1,362棟 1,362坪	99,383円	1,362棟 1,362坪	110,566円	119,909円

三、家族及従業者に及ぼしたる状況

計	2,703 3,377	267,830	534 1,122	20,750	195,560	484,140
---	----------------	---------	--------------	--------	---------	---------

町村名	工場名	損害高	業務着手年月日
藤澤町	徳増製糸	一五、五〇〇 <small>円</small>	十二月二日事業開始
茅ヶ崎町	純水館	二四、七六六	三月六日

四、總損害高及復舊狀態

計	工場名	從業員死傷		家族其ノ他死傷		摘要
		死亡	負傷	死亡	負傷	
一	徳増製糸	一	一	一	一	
三	純水館	三	三	三	三	
	山本工場					
	持田第二工場					
	關口製糸					
	鈴木製糸					
	保田製糸					
	糎山製糸					
	宮澤製糸					
	純水館					
	計	一	三	一	三	

大和村	宮澤製糸	八五、一三〇	十月十八日〃
澁谷村	初山製糸	三八、二〇〇	十月六日〃
〃	保田製糸	三五、二〇〇	十月五日〃
〃	鈴木製糸	五四、五九五	十月廿五日〃
〃	關口製糸	六三、四九五	十月二十日〃
〃	持田第二工場	二五〇、九〇〇	十一月二十日〃
小出村	山本製糸	五一、四二〇	復興困難ニシテ廢業
計		一、〇二九、一三九	

(2) 農業方面の損害は、相模川沿岸の耕地二十有餘町歩の低下、及び小出川の隆起によりて排水不能となり、耕地に浸水したる爲め農作物を潰滅せしめしこと甚大なりき。就中、寒川村以北座間村に到る、即ち相模川沿岸町村地内に於ける目尻川、鳩川の崩壞に由る田地の荒廢は約三千有餘町歩に及び、之が復舊は農村死活の大問題なれば、關係七箇町村は耕地整理法に従ひ國及び縣の援助の下に擧げて努力せる結果、漸く復舊の緒につきつゝあれど、之が爲稻平年作七萬七千石の五分減收し、その被害額十一萬五千圓に達し、麥收穫價額百四十萬圓の一割十四萬圓の損害を算す。

農作物に於ても、亦其被害輕少ならざりき。就中、本郡震災當時の主要作物甘藷に及ぼせし影響甚だし、京濱地方の需要激減の結果、十月中に其大部分を賣却するを通例とする甘藷は大影響を蒙りたりき。然れども、關西方面への輸送機關も杜絶の状態なりし爲、十月中旬に至るも、作付甘藷の多數は收穫不能となり、農業者の困憊其極に達せしかば、茅ヶ崎町の如きは、有志集りて復興會を組織し、汽船を以て、京阪方面輸送の途を講じたるも、其成績芳ばし

からざる爲、終に海上輸送も杜絶の状態となりたりき。然るに、十一月初旬、東海道線復舊するや、小生産者は舉げて販出に着手したれども、時恰も京阪方面にては、各地から甘藷の供給多く、供給過剰となりし爲、賣價暴落し生産者の狼狽措く能はざるに至れり。今、十月十五日現在に於ける收穫状況を示せば次表の如し。

第四表

主要農作物に及ぼしたる状況

町村名	甘藷 作付 反別	全上 見込 金額	收穫 セル 反別	全上 見込 實收 額	摘 要
藤澤町	七二、五〇	一七八、一〇〇	三五、七四	一一、四三五	本年ハ收穫不良ニ際シ震災 影響ヲ受ケ相場不振 甘藷代金餘リ低價ニシテ現 在賣買スルコトヲ得ズ
茅ヶ崎町	一一五、〇〇	六二、五〇〇	一一三、〇〇	六〇、〇〇〇	
寒川村	一五二、七〇	九、一六四	五〇、九〇	四三八 五五	
小出村	一一〇、〇〇	六六、〇〇〇	五〇、〇〇	四四、〇〇〇	
御所見村	一一三、〇〇	二四、六八〇	四、九五	九、九〇〇	
有馬村	四七、一〇	二二、五五〇	九、二〇	一、五六四	
海老名村	五三、〇〇	一六、九六〇	一〇、〇〇	三、六〇〇	
座間村	一六〇、〇〇	六四、〇〇〇	五三、〇〇	一六、八〇〇	
新磯村	七八三	四九三 五〇	七、八三	五六四	
麻溝村	四三、五〇	一、三〇五	一三、〇〇	三三三	
田名村	五、二〇	一、一三六	一、四〇	二五〇	
溝村	四三、七〇	八、七四八	一七、四〇	三、四八〇	

一般食料ニ供スル爲ノミニ  
 一別ニ販賣ヲ目的トスルモ  
 ノハ一部分ニシテ亦販賣始  
 メザル模様ナレバ影響ヲ認

大澤村	四五〇〇	八、九二〇	四五、〇〇〇	八、四六〇
相原村	五三六〇	九、五六五	三六、八〇〇	五、八八八
大野村	七五、四〇〇	一一、三〇一	九、四〇〇	一、五〇八
大和村	一一、六六六	三、四九八	一一、一〇〇	三四九
綾瀬村	二二〇、〇〇〇	六三、〇〇〇	二二、〇〇〇	四、二〇〇
澁谷村	八八、五〇〇	一七、七〇〇	二五、五〇〇	四、〇八〇
六會村	一一〇、〇〇〇	二二、〇〇〇	二、〇〇〇	四、六〇〇
計	二、二六、九九九	五、九三、一〇五	五二七、三三三	一八、一四三、八五五

賣先悪シク困却セリ

其他、秋蔬菜の蒔付不能、夏蔬菜の輸送機關破壊に依る價格下落の爲損害を蒙りたるもの亦少なからざりき。なほ、耕地、農作物の外、農村の蒙りたる被害の多くの計上さるべきものあり。農家住宅及び附屬に及ぼしたるもの即ちその一部にして、産業組合に及ぼしたるものも亦然り。今、これらのものを表示するに概ね次表の如し。

第一表

農家住宅及附屬に及ぼしたる状況

町村名	農家戸數	全潰セル 住家ノ棟 數及坪數	半潰セル 住家ノ棟 數及坪數	全潰セル 倉庫全上 及坪數	半潰セル 倉庫全上	上欄 計 損失額
藤澤町	一、二八八	三八三棟 六、〇五五坪	六七六棟 一一、〇一八坪	六二棟 六、二坪	三九棟 三、四二坪	六二九、二九三 円
茅ヶ崎町	一、六五五	四五〇棟 七、六五〇坪	八三〇棟 一、三九四坪	一一五棟 二、二五五坪	七九棟 五、九二坪	五四二、八二〇 円



第十七章 高座郡

相原村	大澤村	溝村	田名村	麻溝村	新磯村	座間村	海老名村	有馬村	御所見村	小出村	寒川村
四八八	五九三	四八八	五六〇	四六九	四六〇	九二四	七五六	五七九	六一九	五八五	六九九
一五二 一三		四五 六	七五 五	一六 九	二〇 二〇	一、三 〇	八、一 〇	八、六 四	三、三 四	五、六 〇	一〇、 四三七
二〇 一四	四〇 二	三〇 〇	三六 五	三〇 三	九三 五	一、一 六〇	四七 九	三、二 八	三、九 三	四、三 八〇	四、一 八九
			一六 〇	二一			二六 四	六四 三		三五 〇	
	四二 一		一八 〇		五〇 四		一七 五	三九 二	五〇 二	八一 四	五〇 二
四七 五	一一 二	六一	一八 〇	一六 三	四八 八	五六 八	五九 八	四八 五	二六 三	四三 五	一〇、 二八六
五八 六	八七 五	九一 六	八〇 〇	三一	一一 二	九一 三	一九 八	二二 五	二八 六	六四 五	三九 三
二二、 四一〇	五八、 四五〇	一三、 六〇〇	七〇、 〇〇〇	一六、 五〇〇	一八、 四一〇	七五、 四六九	四一、 七九一	四二、 一九四	一一、 五六〇	六〇、 〇〇〇	二五、 八〇〇

計	六會村	澁谷村	綾瀬村	大和村	大野村
三、二七八	六六〇	五八六	七五〇	五七〇	六八〇
三、四三八	二、八四〇	三、三六〇	九、七六五	三、八八二	七、五五三
三、四六三	二、六六〇	三、九〇四	五、四八一	七、四八三	一、二四七
三、七二二	二、一八六	七、五五六	一、三一一	一、三一一	一、三一一
一、二四七	九〇五	一、二五〇	六、三五五	三〇二	三〇二
七、六六九	一、五二六	九〇二	七、九八三	六〇五	七、八一五
一、〇三五	二、八四七	七、三〇六	一、六二七	一、一七七	九、七七一
三、九〇九	九、二〇〇	一、二六、四〇〇	三、三三、四〇〇	九、八〇六	一、七、五六五

第二表

(其 一)

町村名	藤澤町	茅ヶ崎町	寒川村	小出村
全潰セル納屋ノ棟數及坪數	坪 棟 六、九五四 二、六三三	五、七六〇 四、八〇〇	九、三三〇 四、六六六	三、五〇〇 二、五五六
半潰セル納屋ノ棟數及坪數	三、一三六 四、〇〇三	二、一五二 九、六〇〇	三、一六〇 一、一五八	一、九三六 一、二一九
全潰セル堆肥ノ棟數及坪數	一、一〇四 一、一五六	七、二七〇 九、七〇〇	六、二四七 七、八〇〇	一、三三二 一、一九二
半潰セル堆肥ノ棟數及坪數	三、三三九 一〇、一	三、五二〇 四、七〇〇	二、〇八二 二、六〇〇	五、六七七 八、一
全潰セル其ノ他建物ノ棟數及坪數	四、五八三 八、三	二、三三〇 四、八七〇	一、〇八五 一、一五五	一、七九九 二、五七七
半潰セル其ノ他建物ノ棟數及坪數	五、八七七 八、七	四、八七〇 七、五〇〇	三、六四二 五、二	七、一一一 一、〇三三
合上欄損失高	一、六〇、一五八	二、九〇、二九〇	二、二四、六〇〇	一、五〇、〇〇〇

第十七章 高座郡

大 和 村	大 野 村	相 原 村	大 澤 村	溝 村	田 名 村	麻 溝 村	新 磯 村	座 間 村	海 老 名 村	有 馬 村	御 所 見 村
六四八 六四三	四六四 四六四	二、五八五 四一	五三 五三	一五〇〇 一五〇〇	二〇二 二〇二	八六 八六	—	二七六 四六	二、七四七 三三二	二、四七三 二五七	二、六三六 二五二
一、二九六 九二	一五六 一三	八一 一三	五九 五	一五〇〇 二〇〇	一五七 一一	一八三 三	三一 一	一三三 二	一、四〇四 一七四	九二四 九七	一、七九五 一七一
三二六 四三	三一 四五	—	四〇 六	一〇五 一五	七五 一一	三〇 五	—	—	一、三三五 一九六	一、三〇六 二五六	一、七六五 二三五
四四三 五六	七五 五	—	五七 五	七〇 〇	一五〇 二〇	一八三 三	七二 二	—	九二五 一一五	三九四 六九	一、一〇〇 一六〇
一〇四 二九	七五 一七	—	五三	—	三六 一一	五二	二二五 一五	六四五 四五	一、四三七 二〇六	三三二 一五〇	三五 七五
一九九 六三	五五 九	—	九〇 二九	—	三二〇 六八	—	四五 三〇	二二〇 一四	一、二〇六 一九九	一〇五 一三三	二二四 四二
六五、七一一	八、四二六	二、四七二	六、五五〇	四、七五〇	四、八八〇	四、二七三	一、四五〇	一一、七三二	四三、五八三	七五、二四〇	八二、二五〇

第三表

農業者に及ぼしたる状況

町村名	成年死亡者數		成年負傷者數	幼年死亡者數	幼年負傷者數	合計
	男	女				
藤澤町	九三	二二	二二	二二	二二	一五九
茅ヶ崎町	二四〇	二二	二一〇	五〇八	三〇	一三〇八
寒川村	一三六	一三	八五	七五	二二	三〇八
小出村	三二	三	二二	二	二	二二五
御所見村	四	一	二二	一	三二	一〇四
有馬村	二二	三	六三	三二	三一	三二九
海老名村	一〇八	一	二四	七七	三	四四一
綾瀬村	五、二五七	四三五	二、四三七	一、二二〇	三、九〇	二、八四、八五〇
澁谷村	九九〇	六六	五二五	三二五	二〇〇	二〇、五五〇
六會村	一、七八〇	一七八	一、五八〇	一、〇四四	一、一六六	五二、一五〇
計	三、一九九	四三〇	二、六六〇	一、四七四	一、七三七	一、三九四、〇〇五

第四表

産業組合に及ぼしたる状況

計	六 會 村	澁 谷 村	綾 瀬 村	大 和 村	大 野 村	相 原 村	大 澤 村	溝 田 村	麻 名 村	新 磯 村	座 間 村
九五 一四	六三	二一	五五	三二							
一一 五二	五二	七五	三〇	二二	一三						〇
七七 七三	四二		二四								一
六六 六〇	三四	五三	五〇	三五							
三三 三八	八一	一九	一九	八九	一三						一

組 合 名	事務所 全半潰別	全上損害高	事業場 全半潰別	全上損害高	倉庫 全潰別	全上損害高	損害合計高
田名信購販利組合			製糸工場汽罐 崩壊	二〇〇 半潰	一	八〇〇	一、〇〇〇
大沼信購販利組合			製糸工場棟半 潰	三、〇〇〇			三、〇〇〇
麻溝信購販生組合			汽罐場半潰一	一五〇			一五〇
綾瀬信購販組合	半潰	一〇〇					一〇〇
善行信用組合							
大澤信購販利組合							
溝村信購販利組合			汽罐臺床全潰 水槽煙突全潰	三五〇 一〇〇			五、〇〇〇
寒川信購販組合	半潰	一五〇		半潰	一	一、一五〇	一、三〇〇
大澤製糸利用組合							
大正信用組合	半潰	七〇、〇〇〇		半潰	四七	九、五九五 三、二七五	三、〇〇〇 一二、九四〇
澁谷信購販組合							
圓行信購販組合							
家畜販購生組合							
漸 造 舍							
寺尾信購販組合	全潰	五〇〇					五〇〇
橋本信販利組合	半潰	一〇〇		半潰	一	七〇〇	一、〇〇〇
相原信販生組合							

計	組合員數	十二年九月一日以前ニ於ケル損害				全上ニ於ケル負債		
		貸金	預金	現金	計	借入金	貯金	
卯生信購販組合	半潰							
辻堂信購利組合	半潰	一借家故ナシ						
澤谷信販組合	全潰	一全右	揚返	場借家ニツキナ				
共營信購販組合	半潰	100			半潰	500	700	
鹿島信生販組合	半潰	1,000					1,000	
早川信販組合	半潰	200					200	
座間信販生組合	半潰							
計	全潰 半潰	7,450	全潰 半潰	61	6,900 半潰	98	21,010	30,400 全潰 半潰

第五表 (其 二)

組合名	組合員數	十二年九月一日以前ニ於ケル損害				全上ニ於ケル負債		
		貸金	預金	現金	計	借入金	貯金	
田名信購販利組合	五五三	四五、三三五	三九、五〇六	二、六〇五	八七、四三六		二二、九七四	一三、九七四
大沼信購販利組合	五八	八、四五四	七六	一一三	一四、七九三			
麻溝信購販生組合	一七五	三七八	一、四〇〇	二四二	一、六六一		六、九九一	六、九九一
綾瀬信購販組合	三六	二二二	三、三一九	三九三	三、九四三		三、八四三	三、八四三
計		二二二	三、三一九	三九三	三、九四三		九四〇	九四〇

第十七章 高座郡

善行信用組合	四四	五、七二九	一、六七七	二一七	七、五二三	二、三三〇	二、三三〇
大澤信販購利組合	五四三	二四、一四 七六五	一、八五三 四〇〇	九二五 二二〇	二六、九二〇 三七五	一八、三七九 五三〇	六四、九五〇 九七五
溝村信販購利組合	一九八	二四、六六七	五八六 七〇〇	二二三 七三〇	二五、二九七 四三〇	一三、〇〇〇	二六、九五〇
寒川信販購利組合	一九四		九七〇		九七〇		
大澤生糸利用組合	七一						
大正信用組合	一四五	三四、四七〇 二五〇	四、二七五 六七〇	一、八六〇 七七五	四〇、六〇六 六九五	五、八〇〇 二、七〇六 六三〇	二、九一九 〇六〇 六九〇
澁谷信販購利組合	四五	三、二二九 〇〇〇	四〇〇	五四七 〇〇〇	四、一六六 〇〇〇	六、〇〇〇	九三八 二七〇
圓行信販購利組合							
家畜禽販購生組合	五八〇		五五〇	〇五五	六〇五		
漸進社	三四	四、二五〇		五、六五五 五〇一	九、九〇五 五〇一	一三、二〇〇	四三、六〇九 八二〇
寺尾信販購利組合	五三	一、六五七	一一、〇五六	二三	一二、七六六	二一、〇一一	一一、〇一一
橋本信販購利組合	七六	二七一 二七〇		八〇四	二七三 〇七四	四〇〇	一一六 二三〇
相原信利組合	一二六	三〇	一〇〇	二〇五 二八五	三三五 二八五		一四三 九八五
西生信販生組合	一〇	二〇〇	一〇〇	二七 四三八	三七 四三八		二五四 二五四
辻堂信販購利組合	五七		二八五		六五		
澤谷信販購利組合	七		六六〇	〇八〇	七四〇		一七、一七六 一四〇



第六表

全組合員に及ぼしたる状況

組合名	住家ノ全潰數		倉庫ノ全潰數		竈室ノ全潰數		上欄以外ノ建物全潰數		以上損害見積額
	全潰數	上半潰數	全潰數	上半潰數	全潰數	上半潰數	全潰數	上半潰數	
共榮信用購販組合	七三	一九、〇九七	五四三	七三三	二〇、五五三	一、六八三	三、〇三六	一九、八七五	
鹿島信生販組合	三	四五	一	二七三	三六一	九一〇	九一八	八二八	
早川信販組合	三八		一四	六〇	一〇五	九〇	五四六	一、四六六	
座間信販生組合	一五		五五二	一七八	七二九		九五〇	九五〇	
計	三一五三	一一、七二二	六五、九四二	一三、八八八	二五八、一四四	一七〇、〇九〇	二六七、四三三	四七三、二一九	
		五九、二二一	二六四	九九〇	四六五	〇七〇	六五三	七一一	

第十七章 高座郡

第十七章 高座郡

六八六

大正信用組合	二八	一七	七	四	二	一	二九	五	二四二、八一七
澁谷信購販組合	二	一〇	七	八	三	一	四〇	一	八三〇
圓行信購販組合	一七	三三	一三	八	三	三	四〇	六	二、一〇〇
家畜禽販購生組合	三	一七	四	一五	一	二	一〇	三〇	四三、五七〇
漸進社									七八、〇〇〇
寺尾信購販組合	一	五〇〇							五〇〇
橋本信販利組合	四	五		二〇		一	一〇	二〇	二〇、〇〇〇
相原信利組合	四	二	七	二			一七	六	一八、六〇〇
西生信販生組合	四	六					一九	二	七、六六五
辻堂信購販組合	二〇	三七	九				二七	五七	六五〇
澤谷信販組合	五								
共營信販購組合		三五	一五		二	四	一〇	五〇	八、三七〇
鹿島信生販組合		五		五	二		四	二	八、五〇〇
早川信販組合	二〇	一八	三	三	三	一	三六	三〇	四〇、〇〇〇
座間信販生組合							一	二	〇六
計	四三七	七四七	一五三	六二六	三三	五九	七四五	四二六	一、〇五四、八七〇
									二、八五〇

第七表

(其 一)

組合名	組合員數	組合員 死亡者數	全 上 負傷者數	家 族 死 亡者數	全 上 負傷者數	摘 要
田名信購販利組合	五三					
大沼信販購利組合	五					
麻溝信販購生組合	一七五					
綾瀬信購販組合	三六		一	六	八	
善行信用組合	四			一		
大澤信用組合	五四三	一		三		
溝村信販購生組合	一九八					
寒川信購販組合	一九四	一		八	七	
大澤村製糸利用組合	七二			一		
大正信用組合	一四五		一	六	四	
澁谷信販購組合						
圓行信販購組合	四五	一			三	
家畜禽販購組合	五八〇		三	二	五	
漸進社	三四					
寺尾信購販組合	四三			二	三	
橋本信販組合	七六					
相原信利組合	二六	一		二	三	

計	卯生信販生組合	辻堂信販購組合	澤谷信販組合	共營信購販組合	鹿島信購販組合	早川信販組合	座間信販生組合
三、一五三	二〇	五七	七	七三	三三	三六	二五
五							
二四		三	二	五			
三四							
四三				〇			
	負傷者二週間以内ニシテ 全治ス						

第八表

養蠶業に及ぼしたる状況

町村名	夏秋繭高	全上枚數	夏秋繭販賣金高	全上代金高	全上代金未高	秋蠶飼育中止枚數	秋蠶掃立中止枚數
藤澤町	一、四八九	三七枚	二、二〇八	九、二四六	三、四七八	二六枚	一〇枚
茅ヶ崎町	四、五〇〇	一、六〇〇	四、〇五〇	三、四〇〇	八、一〇〇	四〇〇	二〇〇
寒川村	一三、九八〇	二、七九六	一、二五、八二〇	四、九四〇	八三、八八〇	一、三九七	
小出村	四、八〇〇	二、〇〇〇	三、八、四〇〇	二、八、四〇〇	一〇、〇〇〇	七〇〇	三〇〇
御所見村	四、七六五	一、七四八	三、八、二〇〇	三、六、二〇〇	五、五〇〇	八七〇	四四七
有馬村	六、七三六	二、二八四	六、七三七	三、四、三七二	二、六、四九九	一、三九七	三七七
海老名村	五、〇四九	二、九六六	三、三、八四三	二、九、七一八	三、一、二五	一、二四三	二八八

座間村	四、一六〇	三、五四	二〇、八〇〇	一六、八〇〇	四、〇〇〇	二六七	一、七六三
新磯村	二、八〇〇	七〇〇	一九、六〇〇	一九、六〇〇		三〇	八〇
麻溝村	七、二六七	三、四三六	自家製糸家ニ 三、五〇〇			七五七	三〇〇
田名村	七、五〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇	五〇〇	六〇〇	六五
溝村	六、三〇五	三、一五三	四七、二九五			二一六	
大澤村	一〇、二〇〇	三、四〇〇	七、五〇〇	七、五〇〇		一五〇	一〇〇
相原村	六、五四九	三、〇八六	三三、一〇〇	三三、一〇〇		六一八	三〇八
大野村	九、九三三	四、四一九	三〇、八〇〇	二六、二八〇	六七五	四〇九	一三七
大和村	一、九七〇	八五〇	一七、八八五	一四、三〇七	三、五七七	五〇	二五〇
綾瀬村	六、七〇八	二、二三六	六〇、三七二	四〇、三七二	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	一〇〇
澁谷村	五、四〇〇	三、四六〇	三三、〇〇〇	一三、五〇〇	一七、〇〇〇	一、三〇〇	一三〇
六會村	三、二四二	五五九	三三、六五二	一三、八四四	一八、八〇七	四四八	一一〇
計	二三、三四三	四五、四八四	八六、六八三	三八六、九九九	二二二、二九二	二二、九八八	四、九七四

(3) 蠶業方面に於ては、震災當時既に第一期育蠶の收繭は之を完了したるも、二期三期は恰も飼育中なりしかば町村は全部其飼育に困難を來すに至れり。近年、農作物の收支相償はざるもの多く、養蠶業は、奮起して、夏秋蠶飼育も、三回掃立は普通となり、多きは四回飼育をするの状況にありしかば、二期以下飼育不能は養農家に大打撃を與へたりき。因にこれら秋蠶の被害は五萬二千五百貫此損害額四十二萬圓に達し、更に、蠶室倒壊に依り、將來の養蠶經營上に及ぼしたる影響は特に甚大なるものありき。

尙製糸工場に於ける災害も亦甚だしく、之が爲めに及ぼしたる影響も亦頗る大なりき。今、其狀況を示すに次の如し。

三、繭及生糸の損害

工場名	生糸ヲ横濱へ出荷焼失セルモノ		自宅ニテ汚損セルモノ		繭ノ損害		損害計
	斤數	損害高	人數	損害高	數量	損害高	
德増製糸	一、五〇〇斤	三、五〇〇円	二七人	二、五〇〇円	九〇〇石	三〇、〇〇〇円	六四、〇〇〇円
純水館	二、七二三	五、九七三	一	—	二二五	二八、〇〇〇	八四、九七三
宮澤製糸	一、六五〇	三、六五〇	二〇	五〇六	六三	三、六九〇	七、〇五六
糺山製糸	一、一八一	二、四八〇	六七	六〇〇	三〇	四、〇〇〇	二九、四〇一
俣田製糸	六七〇	一、四〇七	二	六〇	一一	四八〇	一四、六一〇
鈴木製糸	一、五九五	三、四九五	九	三〇〇	二〇	五〇〇	三四、二九五
關口製糸	一、五九五	三、四九五	一九	一、〇〇〇	一五〇	三、〇〇〇	三七、四九五
持田第二工場	二、九〇〇	六、〇九〇	三五	三、〇〇〇	二五	二、〇〇〇	六五、九〇〇
山本製糸	六五〇	一、三六〇	一四	三、三〇〇	八〇	八、八〇〇	二三、四六〇
計	一四、四五四	三〇〇、二四四	一〇三	一一、二六六	一、四九四	一一三、六八〇	四二五、一九〇

(4) 漁業方面に於て、各浦漁業組合の蒙れる損害も亦決して輕微と云ふべからず。先づ漁家の倒壊せるもの一一五戸、半潰六八戸に及び、其他住家以外の建物の損害を合する時は、其損害高、實に二十有餘萬圓に及び。海嘯の襲

來に依りて破損せられたる多くの漁船漁具の各漁業組合に與へし損害も元より輕少にはあらざれども、最も損害を蒙れるのは、柳島浦漁業組合地區の隆起による魚漁場の變化にして、從來、漁船は河川に出入するを得たりしが、今次の災害に依りその交通を斷たれしかば、非常なる不便を感じるに至れり。これらの損害概況別表の如し。

漁業組合被害狀況調

第一表

組合數	全潰戸數	半潰戸數	組合員住家以外ノ家屋全潰數	全上半潰	損害見積金額
五	二五戸	六戸	一六棟	七棟	一〇八、五三〇円

第二表

組合數	漁船全潰數	全上半潰數	全上小破損數	破損漁具數	以上損害見積價額
五	九艘	五艘	四	六	一四、六〇〇円

第三表

組合數	組合員死亡	組合員負傷者數	家族死亡者數	家族負傷者數	備考
一九七名	一名	一	七	一	家屋倒潰ノタメ歴殺セラル

史蹟名勝天然記念物

震災被害激甚を懸念されたる郡内史蹟海老名村國分寺が比較的輕微なりしに反し、藤澤町所在名利藤澤山無量光院清淨光寺（一名遊行寺）の被害は慘澹たるものなりき。拾六間四面の大伽藍は勿論、堂宇、書院、寶物庫等は盡く倒潰し、其損害十二萬八千三百六十五圓と稱せらるゝも、國寶等に損害のなかりしは不幸中の幸と云ふべし。

其他、國幣中社寒川神社を始め、神社佛閣は大半倒潰せしも、幸に火災を免れしたため、寶物記念物等の滅失したるものなかりき。

これらの損害見積價格八十六萬六千四十一圓九十二錢、寺院の損害見積價格遊行寺の分を除きて三十七萬五千圓に上れり。

### 三、財政に及ぼせる震災の影響と其整理

震災に依り、歳入の缺陷を生じたる金額六萬七千八百三十圓にして、整理緊縮事業繰延等に依り捻出し補填したる額は僅かに六千五百九十四圓に過ぎず、而して、震災復舊費は或は教育土木衛生役場費等の如き、直に復舊の要あるもの甚大にして、就中小學校復舊の如きは其の事業遂行上多大なる痛痒を生じ、而して之が對策として起債したる額實に四十四萬七千八百圓の多きに及べり。尙、大正十三年度に於けるものは、歳入缺陷を生じたる金額一萬四千六百三十一圓にして、歳出の整理節約等に依り捻出し補填し得たる額は僅に一千二百九十圓に過ぎず。己むなく、歳入の増加に因り、補填し得たる額三千三百六十七圓にして、十四年度よりは、事業の繰延等の方法により、應急措置を爲せり。